

## にっぽん子ども・子育て応援団 2023 年度総会次第

日時:2023 年 5 月 21 日(日)10:30～11:30

場所:日本教育会館 7 階中会議室

一、開会のことば

二、団長あいさつ

三、議長選出

四、議事

- ① 2022 年度活動報告について
- ② 2022 年度会計報告について
- ③ 2023 年度活動計画について
- ④ 2023 年度予算案について
- ⑤ 企画委員の退任に伴う規約改定について
- ⑥ 2023 年度運営体制について

五、閉会のことば

# につぼん子ども・子育て応援団 2022 年度活動報告

(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

## 1 重点活動目標

常にこどもの最善の利益を考え、こどもに関する取り組み・政策を我が国社会の真ん中に据えた「こどもまんなか政策」推進体制を実現させるための司令塔として、「こども家庭庁」の創設が進められている。創設は 2023 年 4 月である。

につぼん子ども・子育て応援団が 2009 年の創立以来掲げてきた理念は、真に「子どもの視点に立った、子どもを取り巻くあらゆる環境を視野に入れ、子どもの権利を保障し、子どもを誰一人取り残さず、健やかな成長を社会全体で後押し」する社会の実現であり、「こどもまんなか社会」の実現に資する「こども家庭庁」整備に向けて、できる限りの運動を行う。

・基本的には、2012 年度年次総会において設定した重点活動目標の実現に向けて、子ども・子育て支援施策新制度推進の財源確保とともに、家族給付へのさらなる国民の理解を求め、事業の中身、質についての議論を進めて行く。

「私だけの子育てから、みんなと子育てへ」

「につぼん子ども・子育て応援団の目標」

すべての子どもたちが、かぞくの愛情に生まれ、  
また、子ども同士の積極的な関わり合いの中で、  
そして、地域や社会の多くのおとなたちの慈しみの中で、  
心豊かに成長できる環境を保障すること」

「目標実現のためのにつぼん子ども・子育て応援団のアピール」

1. 子どもと家族を支える質的環境向上のためにさらなる財源を
2. 着実な事業計画の推進を
3. 当事者の声が反映されるしるきを

## 2 啓発活動

・ホームページによる普及啓発活動

公式サイト閲覧総数 1,081,861(2022 年 10 月 31 日現在)(2022 年 3 月 31 日現在 1,073,592)

サーバーの機能変更により、上記以降のアクセス解析ができなくなったため、以下の数値を報告。

Twitter フォロワー数 6,164 facebook フォロワー数 2,721 2023 年 3 月 31 日現在

	2022 年度 3 月 31 日現在数値	2022 年度末目標値
企業・団体サポーター	51 社	60 社
NPO・市民団体サポーター	284 団体	290 団体
自治体首長サポーター登録	18 人	40 人

### 3 調査研究活動

#### 参議院議員選挙に伴う政党アンケート

参議院議員選挙に伴い、各政党に向けて政策アンケートを行い、公式サイト上で結果を発表した。自由民主党、公明党、立憲民主党、国民民主党、日本維新の会から回答を得た。

### 4 情報提供・交流活動

#### (1) 勉強会等の開催(企業・団体サポーター向け講座ほか)

首都圏3カ所で開催する。→結成13周年記念フォーラム

うち1回は企業・団体サポーター向け講座(企業・団体サポーター交流会)とする。

・結成13周年記念フォーラム「すべての子どもが「健全に生まれ育つ権利」を守る環境整備」

日時:2022年5月22日(日)14:00~17:00 zoom ウェビナーによるオンライン開催

参加お申し込み:113名

開会挨拶 清原慶子 につぼん子ども・子育て応援団企画委員

行政レクチャー こども家庭庁設置関連法案について

長田浩志さん 内閣官房こども家庭庁設置等準備室審議官

第1部 いま、言いたい ここが足りない、至らない

話題提供者

孤立する若年妊婦

中島かおりさん NPO法人ピッコラーレ代表理事

子どもの成育環境格差

可知悠子さん 北里大学医学部公衆衛生教室講師

子どもの孤立・若者支援

西野博之さん 認定NPO法人フルスペースたまりば代表理事

子ども支援

田中れいかさん 一般社団法人ゆめさぼ代表理事

コーディネーター

清原慶子 につぼん子ども・子育て応援団企画委員

村木厚子 につぼん子ども・子育て応援団企画委員

第2部 各政党に聞く 我が党が力を入れる子ども政策と財政に関する考え

パネリスト 加藤勝信さん 自由民主党衆議院議員

古屋範子さん 公明党衆議院議員

岡本あき子さん 立憲民主党衆議院議員

塩川鉄也さん 日本共産党衆議院議員

大塚耕平さん 国民民主党参議院議員

メッセージ 社民党

コーディネーター

奥山千鶴子 につぼん子ども・子育て応援団企画委員

堀田 力 につぼん子ども・子育て応援団団長

閉会挨拶 村木厚子 につぼん子ども・子育て応援団企画委員

・2022年度企業・団体サポーター交流会

「男性育休取得率を上げる法改正対応のコツ 誰が休んでも回る職場をどう作る？」

日時:2022年10月18日(火)16:30~18:00 zoom ミーティングによるオンライン開催

参加お申し込み:98名

開会挨拶 勝間和代 につぼん子ども・子育て応援団団長

行政レクチャー 「育児・介護休業法の改正について」

中島静香さん 厚生労働省雇用環境・均等局職業生活両立課育児介護休業担当係長

基調講演 「男性育休取得率を上げる法改正対応のコツ 誰が休んでも回る職場をどう作る？」

小室淑恵 株式会社ワーク・ライフバランス代表取締役社長

につぼん子ども・子育て応援団企画委員

交流タイム ブレイクアウトセッション

コーディネーター 安藤哲也 につぼん子ども・子育て応援団団長

グループファシリテーター

安藤哲也 につぼん子ども・子育て応援団団長

勝間和代 につぼん子ども・子育て応援団団長

小室淑恵 につぼん子ども・子育て応援団企画委員

山田正人 につぼん子ども・子育て応援団企画委員

閉会挨拶 安藤哲也 につぼん子ども・子育て応援団団長

運営については、株式会社ワーク・ライフバランスさんから全面的なバックアップをいただいた。

## (2)情報発信「につぼん子ども・子育て応援団企画委員からのエール」

動画による情報発信を今年度も行う。

## (3)メールマガジンの発行

毎月1回発行

## (4)サポーター登録団体用告知ブログおよび「子ども・子育て会議推進応援団」ブログの運営

サポーター団体のイベント等を告知するとともに、国の子ども・子育て会議の傍聴記や 地方版子ども・子育て会議の動き、勉強会報告など、国の動きや全国各地の動きを逐次紹介して行く。

## (5)「NPO 市民活動団体 ML」「わがまちの子ども・子育て会議 ML」の運営

全国の NPO 市民団体の情報交流、地方版子ども・子育て会議に関わる行政マン、NPO など、関心の高い層を集約、情報交流、意見交換の場としてもらう。

(6)調査、研究プロジェクトなどを通じて得られた情報などの提供を、ホームページや facebook、集会などを通じて行う。また、各活動の知見を活かした交流事業、意見交換会、アピール集会等を開催する。

## 5 政策提言活動

・周年フォーラムを開催し、具体的な提案を、政府、自治体、関係団体、市民等に広く提言を行う。

・(再掲)結成 13 周年記念フォーラム「すべての子どもが「健全に生まれ育つ権利」を守る環境整備」

日時:2022年5月22日(日)14:00~17:00 zoom ウェビナーによるオンライン開催

参加お申し込み:113名

こども家庭庁発足を2023年4月に控え、現状報告を支援団体のみなさま及び養護施設出身の若者にお願ひし、受ける形で各政党の国会議員に直接提言、ご意見をお聞きした。

・こども基本法施行及びこども家庭庁発足に向け、政策提案及び各政党などへの要請行動を行うプロジェクトに参加。子どもと家族のための緊急政策提言プロジェクト、公益財団法人あすのば、みらい子育て全国ネ

ネットワークとともに、院内集会や担当大臣、各政党への要請行動を行なった。

院内集会「こどもまんなか政策」オープンミーティングの開催

11月28日(月)16:00～17:20 参議院議員会館 1階 101 会議室(一般はオンライン参加)

開会挨拶 堀田 力 子どもと家族のための緊急政策提言プロジェクト共同代表

につぼん子ども・子育て応援団団長 公益財団法人さわやか福祉財団会長

こどもまんなか政策発表

コーディネーター 榎原智子さん 子どもと家族のための緊急政策提言プロジェクト事務局長

「子ども・子育て無償化」末富 芳さん 公益財団法人あすのば理事 日本大学教授

「皆支援」中島圭子さん 子どもと家族のための緊急政策提言プロジェクト運営委員

「皆保育」天野 妙さん みらい子育て全国ネットワーク代表

「子ども財源」高祖常子 につぼん子ども・子育て応援団運営委員

識者コメント 柴田 悠さん 京都大学准教授

各党代表者との対話

自由民主党 山田太郎参議院議員(自由民主党「こども・若者」輝く未来創造本部事務局長)

公明党 高木陽介衆議院議員(公明党政務調査会長)

立憲民主党 大西健介衆議院議員(立憲民主党政務調査会長代理、子ども・若者応援本部)

日本維新の会 堀場幸子衆議院議員

共産党 田村智子参議院議員(共産党副委員長)

国民民主党 伊藤孝恵参議院議員(国民民主党子ども・子育て・若者政策調査会長)

応援メッセージ

藤井麗乃さん(高校3年生) 佐藤良祐さん(大学2年生)

西崎 萌さん(NPO 法人セーブ・ザ・チルドレン)

総括

小河光治さん(公益財団法人あすのば代表理事)

閉会挨拶 安藤哲也 につぼん子ども・子育て応援団団長

NPO 法人ファザーリング・ジャパン代表理事

小倉将信内閣府特命担当大臣(こども政策担当)に提言書を手交

12月21日(水) 内閣府大臣室

主要国ではあたりまえとされている子育て政策と予算倍増の実現を求める要請

2月28日

自由民主党「こども・若者」輝く未来実現会議座長 木原稔衆議院議員

3月2日

国民民主党 玉木雄一郎代表 伊藤孝恵参議院議員 浜口誠参議院議員

西岡秀子衆議院議員 田中健衆議院議員 竹詰ひとし参議院議員

田村まみ参議院議員 浅野哲衆議院議員

立憲民主党 早稲田ゆき衆議院議員 大西健介衆議院議員 岡本あき子衆議院議員

城井崇衆議院議員 熊谷裕人参議院議員 馬場雄基衆議院議員

公明党政調会長 高木陽介衆議院議員

申し入れ行動について記者会見 於:厚生労働省記者クラブ

3月7日

日本維新の会 音喜多駿参議院議員

自由民主党 長島昭久衆議院議員

共産党 田村智子参議院議員 宮本徹衆議院議員 本村伸子衆議院議員

☆こども家庭庁発足後も、子ども・若者・子育て政策の充実と財源確保に向けて行動を続けていく。

## 6 講師派遣活動

・世代、党派を超え、社会が一丸となって子ども・子育て家庭を応援する社会づくりに向けて、地域、職場での子育てを応援する気運の醸成のため、団長、企画委員、運営委員などによる講師派遣を行う。

## 7 いきがい・助け合いサミット in 東京

・さわやか福祉財団からの委託事業。異なるテーマによる分科会を通じて、全国から集まった第一線の実践家などによる、共生社会を作る地域包括ケア、生活を支えあう仕組みと実践のシェアと交流。分科会「子どもと高齢者の交流会や助け合いをどう広げるか」の企画・運営を受託。

日時:2022年9月2日(金)13:00~15:00

場所:グランドプリンスホテル新高輪 (東京都港区)

話題提供:松田妙子さん NPO 法人せたがや子育てネット代表理事

田中博子さん NPO 法人ゆうゆうクラブ理事長

井出崎小百合さん NPO 法人もりのこえん代表理事

コーディネーター:奥山千鶴子 にっぽん子ども・子育て応援団企画委員

運営スタッフ:小原聖子、當間紀子、丸茂亜砂美さん にっぽん子ども・子育て応援団

参加お申し込み:会場参加 76名 オンライン参加 252名 合計328名

サミット会場内での展示コーナーで、パンフレットと10周年記念誌の展示とパンフレット及び地域まるごとケア・プロジェクト報告書(2020年2021年度報告書及び2015→2021振り返り調査報告書)の配布を行なった。

## 9 その他の活動

・上記事業の推進のために、運営委員会および事務局会議を、毎月1回開催した。

につぼん子ども・子育て応援団 2022年度会計報告(案)

(2022年4月1日～2023年3月31日)

【収入の部】



科目	予算	決算	一般会計	特別会計	差額
1. 会費収入	880,000	920,000	920,000	0	40,000
2. 賛同金収入	100,000	1,000	1,000	0	-99,000
3. 民間助成金収入	0	0	0	0	0
4. 講師派遣収入	300,000	0	0	0	-300,000
5. 寄付金収入	100,000	0	0	0	-100,000
6. 事業受託費	300,000	300,000	0	300,000	0
7. 受託事業進行管理収入	0	0	0	0	0
8. 資料代収入	200,000	97,214	97,214	0	-102,786
9. 雑収入	10,000	918	918	0	-9,082
10. 借入金	0	0	0	0	0
当期収入小計(A)	1,890,000	1,319,132	1,019,132	300,000	-570,868
前年度繰越金(B)	7,527,432	7,527,432	7,527,432	0	0
収入合計(A)+(B)	9,417,432	8,846,564	8,546,564	300,000	-570,868

【支出の部】

科目	予算	決算	一般会計	特別会計	差額
1. 借料・損料	350,000	278,660	278,660	0	71,340
2. 人件費支出	2,040,000	1,757,570	1,757,570	0	282,430
3. 謝金	150,000	132,000	132,000	0	18,000
4. 交通費	246,960	164,964	164,964	0	81,996
5. 会議費	5,000	0	0	0	5,000
6. 通信運搬費	100,000	77,259	77,259	0	22,741
7. 制作費	0	0	0	0	0
8. 印刷製本費	50,000	29,570	29,570	0	20,430
9. 事務消耗品費	50,000	3,080	3,080	0	46,920
10. 備品費	72,336	93,211	93,211	0	-20,875
11. 助成金事業費	0	0	0	0	0
12. 受託事業費	300,000	109,375	0	109,375	190,625
13. 支払手数料	5,000	3,971	3,971	0	1,029
14. 雑費	10,000	0	0	0	10,000
15. 業務委託費	200,000	209,000	209,000	0	-9,000
16. 予備費	10,000	0	0	0	10,000
17. 預かり金	0	1,462,081	0	1,462,081	-1,462,081
当期支出小計(C)	3,589,296	4,320,741	2,749,285	1,571,456	-731,445
当期収支差額(A)-(C)	-1,699,296	-3,001,609	-1,730,153	-1,271,456	-1,302,313
次期繰越収支差額(D)	5,828,136	4,525,823	5,797,279	-1,271,456	-1,873,181

【監査報告】

上記会計報告書類に関して、令和5年5月16日に監査を行ったところ、帳票類もそろっており、相違ないこと承認します。

監事 北村 理   
 監事 晝間 洋子 

# につぼん子ども・子育て応援団 2023 年度活動計画

(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

## 1 重点活動目標

常に子どもの最善の利益を考え、子どもに関する取り組み・政策を我が国社会の真ん中に据えた「こどもまんなか政策」推進体制を実現させるための司令塔として、「こども基本法」施行とともに「こども家庭庁」が発足した。6 月の骨太の方針でその財源の方向性を示し、「こども大綱」を 2023 年秋に策定、本格始動となる。

につぼん子ども・子育て応援団が 2009 年の創立以来掲げてきた理念は、真に「子どもの視点に立った、子どもを取り巻くあらゆる環境を視野に入れ、子どもの権利を保障し、子どもを誰一人取り残さず、健やかな成長を社会全体で後押し」する社会の実現であり、「こどもまんなか社会」の実現に資する子ども・若者・子育て家庭を支える環境整備に向けて、できうる限りの働きかけを行う。

・基本的には、2012 年度年次総会において設定した重点活動目標の実現に向けて、子ども・子育て支援施策新制度推進の財源確保とともに、家族給付へのさらなる国民の理解を求め、事業の中身、質についての議論を進めて行く。

「私だけの子育てから、みんなと子育てへ」

「につぼん子ども・子育て応援団の目標」

すべての子どもたちが、かぞくの愛情に生まれ、  
また、子ども同士の積極的な関わり合いの中で、  
そして、地域や社会の多くのおとなたちの慈しみの中で、  
心豊かに成長できる環境を保障すること」

「目標実現のためのにつぼん子ども・子育て応援団のアピール」

1. 子どもと家族を支える質的環境向上のためにさらなる財源を
2. 着実な事業計画の推進を
3. 当事者の声が反映されるしるしを

## 2 啓発活動

・ホームページによる普及啓発活動

公式サイト閲覧総数 1,081,861 (2022 年 10 月 31 日現在)

サーバーの機能変更により、上記以降のアクセス解析ができなくなったため、以下の数値を報告。

Twitter フォロワー数 6,165 facebook フォロワー数 2,721 2023 年 4 月 1 日現在

	2023 年度 4 月 1 日現在数値	2023 年度末目標値
企業・団体サポーター	51 社	60 社
NPO・市民団体サポーター	284 団体	290 団体
自治体首長サポーター登録	18 人	25 人

## 3 調査研究活動

子ども・若者・子育て家族や行政・企業の取り組みの現状から、課題解決に向けた調査研究を行い、政策提言につなげる。



## 4 情報提供・交流活動

- (1) 勉強会等の開催（企業・団体サポーター向け講座ほか）  
首都圏 3 カ所で開催する。→結成14周年記念フォーラム  
うち 1 回は企業・団体サポーター向け講座（企業・団体サポーター交流会）とする。
- (2) 情報発信「につぼん子ども・子育て応援団企画委員からのエール」  
動画による情報発信を今年度も行う。
- (3) メールマガジンの発行  
毎月1回発行
- (4) サポーター登録団体用告知ブログおよび「こども家庭審議会推進応援団」ブログの運営  
サポーター団体のイベント等を告知するとともに、国のこども家庭審議会こども・子育て支援等分科会の傍聴  
記や 地方版子ども・子育て会議の動き、勉強会報告など、国の動きや全国各地の動きを逐次紹介して行く。
- (5) 「NPO 市民活動団体 ML」「わがまちの子ども・子育て会議 ML」の運営  
全国の NPO 市民団体の情報交流、地方版子ども・子育て会議に関わる行政マン、NPO など、関心の高い  
層を集約、情報交流、意見交換の場としてもらう。
- (6) 調査、研究プロジェクトなどを通じて得られた情報などの提供を、ホームページや facebook、集会などを通  
じて行う。また、各活動の知見を活かした交流事業、意見交換会、アピール集会等を開催する。

## 5 政策提言活動

- ・周年フォーラムを開催し、具体的な提案を、政府、自治体、関係団体、市民等に広く提言を行う。
- ・「こどもまんなか政策プロジェクト」

こども・子育て支援政策のさらなる充実と財源の確保に向けて、「子どもと家族のための緊急政策提案プロジェクト」「公益財団法人あすのば」「みらい子育て全国ネットワーク」の方々と合同で、各方面への政策提言および院内集会などの情報発信・交流活動を行う。

## 6 講師派遣活動

- ・世代、党派を超え、社会が一丸となって子ども・子育て家庭を応援する社会づくりに向けて、地域、職場での子育てを応援する気運の醸成のため、団長、企画委員、運営委員などによる講師派遣を行う。

## 7 その他の活動

- ・上記事業の推進のために、運営委員会および事務局会議を、毎月1回開催する。

にっぽん子ども・子育て応援団 2023年度収支予算書 (2023年4月1日～2024年3月31日)

【収入の部】

単位 (円)

科目	予算	一般会計	特別会計	収入内訳	
1. 会費収入	850,000	120,000		(団長&企画委員) @10,000円×12人	120,000
				(自治体首長新規&継続) @10000円×10人	100,000
				(企業・団体新規) @50,000円×3社	150,000
				(企業・団体継続) @50,000円×5社	250,000
				(企業・団体継続) @30,000円×1社)	30,000
				(企業・団体継続) @20,000円×10社	200,000
2. 賛同金収入	100,000	100,000	0	(個人) @1,000円×100人	100,000
3. 民間助成金収入	0	0	0		0
4. 講師派遣事業収入	300,000	300,000	0	目標額	
5. 寄付金収入	100,000	100,000	0		
6. 事業受託費	0	0	0		
7. 受託事業進行管理収入	0	0	0		
8. 資料代収入	200,000	200,000	0	春フォーラム	
9. 雑収入	10,000	10,000	0		
当期収入小計 (A)	1,560,000	1,560,000	0		
前年度繰越金(B)	5,984,176	5,984,176	0		
収入合計 (A)+(B)	7,544,176	7,544,176	0		

【支出の部】

科目	予算	一般会計	特別会計	支出内訳
1. 借料・損料	350,000	350,000	0	事務所家賃(@20,000円×12ヶ月+年間登録料)+zoom&ウェビナー使用料ほか
2. 人件費支出	1,920,000	1,920,000	0	事務局・アルバイト人件費 @ (150,000円+10000円×1)×12ヶ月
3. 謝金	250,000	250,000	0	講師・外部スタッフ謝金
4. 交通費	300,000	300,000	0	事務局&講師交通費 (15180+6000)×12ヶ月+50000
5. 会議費	5,000	5,000	0	茶菓・弁当
6. 通信運搬費	100,000	100,000	0	電話代・郵送・メール/宅配便・サーバー・運搬費
7. 制作費	0	0	0	HP制作費、ロゴマーク商品製作費
8. 印刷製本費	35,000	35,000	0	コピー・リソグラフ・印刷費(パンフレット・封筒)
9. 事務消耗品費	10,000	10,000	0	用紙、プリンタインク・文具等
10. 備品費	72,336	72,336	0	レイアウト及び画像加工用ソフト代(AdobeCC)
11. 助成事業費	0	0	0	
12. 受託事業費	0	0	0	
13. 支払手数料	5,000	5,000	0	振込み手数料
14. 雑費	10,000	10,000	0	
15. 業務委託費	200,000	200,000	0	HP管理関連 @20,000円×12ヶ月+サーバーレンタル料
16. 予備費	10,000	10,000	0	
当期支出小計 (C)	3,267,336	3,267,336	0	
収支差額 (A)-(C)	(1,707,336)	(1,707,336)	0	
次期繰越収支差額 (D)	4,276,840	4,276,840	0	

## にっぽん子ども・子育て応援団の運営体制について

### 1. 団長について

団長は、安藤哲也団長、勝間和代団長の2名体制とする。

### 2. 企画委員について

渥美雅子：弁護士

◎安藤哲也：NPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事

奥山千鶴子：NPO法人子育てひろば全国連絡協議会理事長

◎勝間和代：経済評論家

清原慶子：杏林大学客員教授 前三鷹市長

倉田 薫：元池田市長

小室淑恵：株式会社ワーク・ライフバランス取締役社長

榊原洋一：お茶の水女子大学名誉教授 小児科医

林 文子：前横浜市長

松原康雄：認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク理事 明治学院大学名誉教授

村木厚子：津田塾大学総合政策学部客員教授

山田正人：「経産省の山田課長補佐、ただ今育休中」著者

芳野友子：日本労働組合総連合会会長

◎は団長（共同代表）

### 3. 顧問について

樋口恵子：NPO法人高齢社会をよくする女性の会理事長・東京家政大学名誉教授

堀田 力：公益財団法人さわやか福祉前会長・弁護士

### 4. 運営委員について

奥山千鶴子(NPO法人子育てひろば全国連絡協議会理事長)

\* 千葉 梢(日本労働組合総連合会総合政策局・生活福祉局)

高祖常子(認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク理事)

有馬正史(認定NPO法人さわやか青少年センター理事長)

\* 昼間洋子(NPO法人高齢社会をよくする女性の会理事)

山田麗子(「遊育」編集長)

\* は監事

## 5. 事務局体制について

當間紀子:主に企画・広報と渉外を担当

小原聖子:主にホームページ・ブログ管理等の業務を担当

松田妙子:主に勉強会ファシリテーター、イベントの構成を担当

## 6. 運営体制について

○「役員」とは、団長、企画委員、運営委員を指し、この中から事務局長と監事を選出する。また、顧問を置くことができ、顧問は、総会、団長・企画会議に出席、発言することができる。

○役員総会は、原則年1回開催し、応援団の活動の基本的事項(規約改定、事業計画、予算、事業報告、決算、役員を選任等)について審議する。

○団長・企画会議は、年4回開催し、子育て応援団の活動の方向性について審議する。

○運営委員会は、毎月1回開催し、各種事業の企画運営その他について審議する。

\*運営委員会メンバーは、団長、企画委員、運営委員、事務局とする。

\*応援団の機動的運営のため、各種事業の企画運営及び日常の業務運営については、事業計画等で決められた範囲において、運営委員会が決定できることとする。

○年度途中で事業計画を変更する必要がある場合は、原則として団長・企画会議に諮り、事後に役員総会で報告することとする。